

「桜田門外の変に関する文書を読む」解説

1 史料について

(1) 森田家文書（総点数 8,114 点）

・秩父郡大野村（現比企郡ときがわ町）の名主文書群。慶長 7 年（1602）からの年貢割付状や村内 7 組分の年貢勘定帳など年貢関係、ほかに支配関係、村政関係、戸口関係がまとまっている。特に、大野村から江戸城へ献上していた御用炭（大河原炭）の関係文書群が特徴的である。

(2) 彦根藩井伊家

・近江国（滋賀県）彦根周辺に藩庁を置いた藩。天正 18 年（1590）に井伊直政が 18 万石で入った。その後、30 万石まで加増を受けたが、桜田門外の変の後に 20 万石に減封された。井伊家は幕末まで一度も国替えがなかった。

・井伊直政の嫡子直継が跡を継いだ病弱のため、家康の命で庶弟の直孝に藩主を譲り、3 万石を分けて上野国安中藩主となった。（井伊家では直継を二代と数えない）

・明治 4 年（1871）に廃藩となり、藩領は彦根県、長浜県、犬上県と改称され、明治 5 年 9 月に滋賀県に編入された。

2 語句解説

- ・庚申（かのえさる）…干支の 57 番目。十干は「庚」、十二支は「申」。
- ・朝六ツ時（あさむつどき）…午前 6 時頃（午前 5 時～7 時までの 2 時間を指す）。
- ・罷出（まかりいづ）…①貴人の前などから退出する。②参上する。
- ・桜田門（さくらだもん）…江戸城の内濠に設けられた門で、正式には外桜田門。
- ・罷在（まかりあり）…「あり」、「おり」の謙譲語・丁寧語。あります。おります。
- ・夥敷（おびただしく）…①甚だしい、ものすごい。②非常に大きい。③甚だ多い。
- ・稔与（しかと）…①はっきりと、ちゃんと。②たしかに、しっかりと。
- ・殊之外（ことのほか）…思いのほかのこと。
- ・辰ノ刻（たつのこく）…午前 8 時頃（午前 7 時～9 時までの 2 時間を指す）。
- ・桐油（とうゆ）…和紙に柿渋を塗って乾燥し、その上に桐油や荏油を何回も塗って乾燥させた丈夫な防水紙。これを表にして裏に薄布を合わせた防水衣を桐油合羽という。
- ・駕籠訴（かごそ）…江戸時代の越訴の一つ。幕府の高官や大名などが駕籠で通行するのを待ち受けて、訴状を投げ入れたりして直接訴え出ること。
- ・八代洲河岸（やよすがし）…和田倉門から日比谷門にかけての堀の岸。江戸時代初期に日本に流れ着いたオランダ人、ヤン・ヨーステン（耶揚子）の屋敷があった。八代洲から八重洲となった。

3 人物説明

井伊掃部頭（かもんのかみ）…井伊直弼。近江国彦根藩主。大老。

松平大和守…武蔵国川越藩主。松平直侯（なおよし）。

松平市正（いちのかみ）…豊後国杵築藩主（大分県）。松平親良。

脇坂殿…播磨国龍野藩主（兵庫県）。脇坂安宅（やすおり）。老中。

松平修理大夫…薩摩藩主。島津忠義。

遠藤様…近江国三上藩主。遠藤胤統（つねのり）。若年寄。

○井伊直弼を襲撃した人物

	浪士	本史料	文献の記述		浪士	本史料	文献の記述
1	薩摩	有田治右衛門	有村次左衛門	10	水戸	斎藤所之助	斎藤監物
2	水戸	正口辰之助	山口辰之介	11	水戸	鯉淵要八	鯉淵要人
3	水戸	森元六九郎	森五六郎	12	水戸	廣木松之助	広木松之介
4	水戸	杉山弥市郎	杉山弥一郎	13	水戸	稲田市蔵	稲田重蔵
5	水戸	蓮方又市	蓮田市五郎	14	水戸	増子金八	増子金八
6	水戸	佐野弁之助	佐野竹之介	15	水戸	関鉄之助	関鉄之介
7	水戸	黒沢忠次郎	黒沢忠三郎	16	水戸	代後徳之助	海後礎磯之介
8	水戸	大関梨次郎	大関和七郎	(17)	(水戸)	—	岡部三十郎
9	水戸	廣岡子之次郎	広岡子之次郎	(18)	(水戸)	—	森山繁之介

※井伊直弼を襲撃した人物について、文献の記述と比べてみると、本史料では名前や人数の誤りが見られる。これは、書状を書き写した際に誤ったもの、情報が錯綜して誤ったものと考えられる。

4 瓦版に書かれた井伊直弼の死

- ・「井伊掃部（よい鴨）と雪の寒さに首をしめ」
- ・「井伊掃部を網で取らずに駕籠でとり」

→これは、掃部頭と呼ばれていた大老井伊直弼が、雪の中で駕籠に乗ったまま殺害されたことを受けて読まれた川柳である。幕府は井伊の死を極秘にしていたが、世間では瓦版（新聞）が飛ぶように売れ、世間は井伊の首が持ち去られたことも知っていた。